

「障害のある子って、どんな気持ち?~見て聞いて体験して知ろう!~」

川崎授産学園 市民交流事業 佐藤 恵

川崎授産学園(以下、学園)は、毎年、地域住民・市民を対象に障害者ボランティア育成の為に、ボランティア養成講座を開催しております。今年度は、「座間キャラバン隊」様をお迎えし、ボランティアを始めるにあたって、障害の基礎、ダウン症、自閉症の特性、サポートや接し方のコツ等、他に、母の気持ちも含め分かりやすくお話いただきました。



~広げよう!やさしさの輪~ 「座間キャラバン隊」

2003年に結成。障害児を持つ母親達のグループで、知的障害・発達障害を知ってもらう「きっかけ作り」になるように、又、障害のある子の理解者を増やしたいという思いで活動をされています。公演は350回以上、参加者は3万人を越え、小学4年生~大学生、学校の先生、看護師、駅員、行政・施設職員等、幅広い年齢、職種の方々が公演に参加されています。



知的障害の疑似体験をしてみよう! こんな気持ちなんだね...

疑似体験では、軍手をして折り鶴を折りました。手先の不器用さを感じたり、ペットボトルとサララップを使用して独特な見え方(見え難さ)を体験したり、「ピカピカ・・・」という言葉だけの【ピカチュウ王国】を想定して、言葉の伝わらないもどかしさも体験しました。折り紙を折っている最中、講師の方がわざと「早く!早くやって~」と受講者をせかし始め...



【ピカチュウ王国】



軍手をつけて折り鶴を折ってみよう!



<受講者の感想> 軍手をして折り鶴を折るのが難しいな~。
「早く!早く!」とそんなにせかされると嫌な気分になるな~。
⇒ 見守る・待つことが大切!!

ことばが伝わらないって、どんな気持ちかな・・・。
どうしたらいいかわからない、悲しい、イライラする...



ことばが伝わらない時はどうしたらいいの~?
身振り、イラスト、カード、写真、実物を提示してみよう!

注意する場面があったら

- ・×(ばつ)のサインで伝える
- ・できた行為に対しては、○(まる)のサインで伝える
- ・何かに誘う
- ・肯定文であることを伝える 例)「廊下は走らない」→「廊下は歩きます」



声掛けのポイント!

ゆっくり、目を見て
はっきり、やさしく
く、ていねいに
ひとつずつ・・・。



早口、大声、怒る、
しつこく何度も言う、
イライラして言う、
きつく言う・・・。



障害はあるけれど...

- ・ゆっくりだけど出来ることは増えていきます。
- ・みんなより苦手な事がちょっぴり多いだけ。

“やさしい気持ちで見守ってください”



障害がある僕と私は...

「こんな人と一緒にいたいなあ~ & こんな風に接してくれたら嬉しいな♥」

- ・一人の人間として、尊重してくれる人
- ・障害をよく分かってくれて普通の付き合いをしてくれる人
- ・わからないことをわかるように伝えてくれる人
- ・出来ることを一つでも多く見つけ出してくれる人 など



★参加者からの感想★

- ・疑似体験がとてもよかった。言葉が伝わらない状況や、視界の狭さ、手の不器用さを体験できて、我が子の気持ちが少しわかった気がしました。
- ・「障害」という言葉は、もう、なくしてしまいたいと思える講座でした。同じ母親として、こんなに前向きに困難があっても、明るく人生を楽しんでいる姿にあこがれを感じました。ずっとこの活動を続けて、ひとりでもたくさんの方に感動を与えていただけたらと思います。
- ・出来ない事、分からない事より、それによって、ママや周りの人がイライラしたり、嫌な声掛けをされる事の方が凄く嫌な事が体験してみてもわかりました。

~見学やボランティア希望等の方はご連絡をお待ちしております~

社会福祉法人セイワ 川崎授産学園 担当: 佐藤 酒井

〒215-0001 川崎市麻生区細山 1209 番地

☎: 044-954-5011(代)

FAX: 044-954-6463

✉: info@seiwa-gakuen.jp